

成年後見制度とソーシャルワーク パートⅢ

□ 成年後見を受任する立場から、成年後見を使う立場から、それぞれの思いを語る～

日 時 2012年12月1日(土) 14:00～17:00
場 所 京都産業会館7F 第3会議室
話題提供者 一般財団法人 川越病院 片岡亮介さん
社団法人京都社会福祉士会 ぱあとなあ京都 中野友香さん
NPO法人 あさがお 西川健一さん

今年もまた日本精神保健福祉士協会京都府支部と京都精神保健福祉士協会が共に取り組んできた研修会「成年後見とソーシャルワーク」のパートⅢを行います。今回は、それぞれの協会所属のソーシャルワーカーに、障害者や高齢者の成年後見を受任する立場や、成年後見の利用を支援する立場にあるソーシャルワーカーの葛藤や思いを語ってもらい、私たちが精神保健福祉士として、成年後見制度とどのように向き合い、利用できるのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。パネラーには3人の方に登場いただきます。

片岡亮介さん 川越病院で精神保健福祉士として働いて成年後見制度の利用を支援する立場です。その中で疑問に思うことがあり日々葛藤しています。病院で働く精神保健福祉士の皆さんも、同様な思いを抱いているかもしれません。

中野友香さん 日本社会福祉士会にも所属しぱあとなあの一員として成年後見を受任する立場です。ソーシャルワーカーとして成年後見活動に関わる中で感じていることを語ります。

西川健一さん 精神科病院PSWを経て、現在はNPO法人あさがおで成年後見を受任しています。事務所の入り口の相談で、今この人に制度が本当に必要か?という場面に遭遇したり、誰のために使っているのか?など多くの事例にぶつかります。他職種との関係も含めて悩みは尽きません。

以上、3名の話をついて、私たち精神保健福祉士が、成年後見制度を誰のためのものであり、ソーシャルワーカーとして何を大切にするのか、みなさんと意見交換ができれば嬉しいです。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



□ 参加費 □
主催団体非会員の方
500円
会員の方は無料です

市営地下鉄烏丸線「四條駅」下車徒歩2分
阪急京都線「烏丸駅」下車徒歩2分
(26番出口 京都産業会館地階入口直結)
バス…四條烏丸バス停前